

調布の「まち」が将来発展するための条件は？

おしゃべりサロン「相互塾」

(第77回) <入場無料>



若いも若きも大歓迎。Face to Face を大切に！

ドイツのまちの発展条件から 調布のまちの発展を考える

日時：平成18年6月26日（月） 午後7時～9時

場所：調布市総合福祉センター 4階 視聴覚室（グリーンホール南隣）

語り手：斯波照雄さん 中央大学商学部教授

「まち」はいろいろな条件下で発展したり、衰退したりしてきました。現在の「まち」は歴史的な環境の変化の中でどのように変化してきたのでしょうか。まず、西洋と日本とで伝統的に異なる都市構造や市民のあり方について簡単に説明し、ドイツの中で逆境を乗り越えて発展した都市ハンブルクと必ずしも発展できなかった都市リュエックの経済構造を比較してみたいと思います。そうしたドイツの事例を踏まえて、社会環境の変化の中で日本の「まち」が今後発展するための条件を考え、さらに、調布の「まち」の現状を分析し、「まち」の将来を総合的に考えてみたいと思います。

まもなく団塊の世代が定年を迎えようとしています。大きな社会的変化を目の前にして、これからの調布の「まち」の未来像をご一緒に考えてみませんか。

【終了後懇親会(参加自由、実費2千円前後)を行います】

会場に「相互塾」関連の運営費(資料、チラシ、ポスター、会場など)のために『ご寄付』の箱を置いています。ご理解をお願いします。

主催：特定非営利活動法人 調布まちづくりの会

連絡先：森下 政信 (TEL&FAX 483-9993)

E-mail mmasanob@sepia.ocn.ne.jp

(ウラへ続く)

